

2025年度

南山大学
自由応募型インターンシップ
報告集

南山大学

キャリア支援課

NANZAN
UNIVERSITY

受入機関別目次

	受入機関名	学部	学科	学年
1	石川県庁	人文学部	人類文化学科	3年
2	一宮市役所	人文学部	心理人間学科	3年
3	岐阜市役所	人文学部	キリスト教学科	3年
4	小牧市役所	総合政策学部	総合政策学科	2年
5	豊田市役所	外国語学部	英米学科	3年
6	名古屋市役所	法学部	法律学科	2年
7	名古屋市役所	法学部	法律学科	3年
8	袋井市役所	人文学部	日本文化学科	2年
9	尾張旭市役所	法学部	法律学科	1年

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部人類文化学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		石川県庁	
業 種		公務(地方)	

研修期間：8/18(月) ～8/22(金) 実研修日数：5 日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/18(月)	事業説明・保健環境センター見学	環境政策課			
8/19(火)	事業説明・見学・グループワーク	生活安全課 消費者生活センター			
8/20(水)	事業説明・見学・グループワーク	資源循環推進課 エコハウス			
8/21(木)	事業説明・見学・作業体験	自然環境課 白山自然保護センター			
8/22(金)	グループ討論・研修報告	女性活躍・県民協働課			

【研修テーマ（目標）】

大学等に在学中の学生をインターンシップとして受け入れ、石川県庁における就業体験機会を提供することで、学生の職業生活への理解を進め、就職活動及び就職後の職業生活への適応を円滑にすると共に県政への理解を深めることを目的とする。

環境保全や生物保全の仕事について自分の関わり方を明確化すること。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

県庁全体の職場の雰囲気と、生活環境部の具体的な業務や雰囲気を実際に見て、経験することで仕事選択の参考にするため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

1日目：まずは部署関係なく全員で県庁職員の待遇や部署の種類などをオリエンテーションで学んだあと、県庁の建物を見学した。次に部署ごとに分かれ、生活環境部 環境政策課の事業説明を聞き、石川県で行われている環境政策の説明や特に石川県の大気・水・土壌が現状どのようなものであるかについての説明を受けたのち、入庁1年未満の職員への質疑応答を行った。また、保健環境センターに移動し、前述の大気・水・土壌の数値をはかるなどの研究を行っている場所を見学した。

2日目：消費者生活センターにて、消費者生活センターでの事業説明があった後、事業の一環の何組かの親子が参加する科学教室(牛乳パックから紙をつくる)の手伝いをした。その後、消費者生活のビデオを鑑賞し、主に消費者トラブルについて学んだ。その後はその日行ったことを踏まえて「若者に効果的な消費者啓発」についてグループに分かれて討論を行った。最後はセンター内を簡単に見学した。

3日目：県庁にて資源循環推進課の事業説明を受けた後、グループに分かれて2度の討論を行った。最初の議題は「プラスチックごみ削減に向けた具体的な取り組み」について、次の議題は「食品ロスに向けた具体的な取り組み」についてだった。その後はエコハウスに移動して見学を行い、エコハウスに設置されている、エコに関する様々な設備を詳しく見た。見学後はグループに分かれてそれぞれのテーマについて発表を行った。私のグループではエネルギーの節減を数値化したり、データ化したりなどして具体的な削減効果をはっきりとさせる、通称「見える化」について、石川県内でこれをどう進めていくかについて具体的な政策案を出した。

4日目：本庁で自然環境課の事業説明を受けた後、白山自然保護センターに移動し、簡単な事業説明を受けた後、センター外と、内の研究室や標本部屋を見学した。その後は山に設置してあったカメラの映像を見てうつつた動物が何であるかクイズをすることで、動物の知識や業務を学び、また猿につけてあるレーダーを探知しながら移動し、野生の猿を見た。

5日目：本庁にてグループに分かれ、「アンコンシャス・バイアス(=性別役割分担意識や無意識の思い込み)解消に向けての具体的な政策提案」についての発表を行い、女性活躍・県民協働課の職員に講評を頂いた。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

目標でもあった、環境保全や生物保全の仕事についての自分の関わり方の明確化について、より具体的なイメージにできた。当初、生活環境部は理系のイメージがあったが、職員の話聞いてみると文系の人でも活躍していることが分かった。また、自分の専攻する文化人類学はこの仕事に生かすことはできないと思っていたが、4日目の白山自然保護センターの職員の皆さんが、サル調査の際に現地の住民の方にも挨拶をしているのを見て、文化人類学のフィールドワークに通ずるものを感じた。このことから文化人類学もこの仕事に生かすことができるという自信を持てた。

【今後の課題・目標】

今回のインターンシップでは生活環境部の中でも特に自分は自然環境課の仕事に興味があることが分かったため、今後就活を進めていく上では自然環境の分野も視野に入れようと思った。また、今回のインターンシップの発表で、何度か発表役を担当したが、すぐに詰まってしまって説明できないことがあった。今後はスムーズに発表することを目標にしたい。

【選考があった場合、内容など】

なし

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- () PORTA (○) 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- () 学内イベントや就業実践研修の授業 () 知人・友人など
- () その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部心理人間学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		一宮市役所市民協働課	
業 種		公務	

研修期間： 8/4 (月) ～ 8/8 (金) 実研修日数：5日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/4(月)	市役所見学, 市内見学	市民協働課			
8/5(火)	図書館見学, 市民活動企画, 補助金資料補助	市民協働課 (市民活動グループ)			
8/6(水)	防犯活動, 町内会配布資料セット梱包	市民協働課 (地域自治, 防犯・交通安全グループ)			
8/7(木)	防犯グッズ梱包, 高齢者訪問, 出前講座	市民協働課 (防犯・交通安全グループ)			
8/8(金)	市民パトロール研修会設営, 参加	市民協働課 (防犯・交通安全グループ)			

【研修テーマ (目標)】

市のため, 市民のためにどのような業務をしているのか知る, 体験することや公務員になるためにどのような心構えが必要か学ぶことを目標にインターンシップに参加した。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

自分の住む町ではどのような事業がなされているのかを知り, 市のため・市民のためにはたらくことの喜びを感じるため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

8/4(月) 市民協働課について：市民協働課は6階にあり, 市民活動, 地域自治, 防犯・交通安全の3つのグループに分かれて業務を行っている。

市役所見学：課によって窓口での業務, 市内に出てはたらく業務, 事務職が多い業務など様々である。

市内見学：事務職は本庁舎勤務以外に木曾川庁舎, 尾西庁舎, 環境センター, 図書館, 出張所などでの勤務がある。

- 8/5(火) 中央図書館見学：市の職員だけでなく、ボランティアの方、委託業者の方が多く勤めている。図書館司書の資格を持っていなくても図書館勤務になることがある。
市民活動支援センターについて：市のため、社会貢献のために活動する登録団体550団体に対して施設・設備を提供している。
市民活動の補助金制度：団体設立年数や団体に所属する人の年齢によって、補助金制度が異なる。申請された団体を審査・評価して交付を決定する。
補助金制度の要綱：毎年の募集ごとに申請期間等を設けるために募集要項を更新している。
- 8/6(水) 特殊詐欺被害防止キャンペーン：警察の生活安全課，ウルフドッグス名古屋，尾西信用金庫，神山連区防犯委員会とともに一宮駅コンコースで呼びかけ，防止グッズを渡す。国際電話からの特殊詐欺が増加している。
地域自治グループについて：一宮市には811の町内会があり，町内会に関する業務を行う。デスクワークが多く，グループ内の職員間で異なった業務を行っている。
- 8/7(木) 防犯グッズの梱包作業：イベント，キャンペーンで配布するグッズを手作業で詰める。
高齢者訪問：高齢者の方のお宅に伺い，防犯を呼びかけるチラシをポスティングする。これまでは直接高齢者の方と話をしていた。
出前講座：市役所に配属されている警察の方が中心となって防犯や交通安全についての講座を行う。参加する人の数や特性はさまざま，一宮警察署と連携して実施することもある。
- 8/8(金) 市民パトロール研修会：毎年，外部講師を招いて地域のパトロール隊の方に向けて，研修会を開催している。今年は，市民防犯や見守ることの大切さ，防犯ブザーの使用方法についてのお話や防犯の実践方法を講義いただいた。市民協働課は研修会のための設営や備品の整理，講師の方の送迎を行っている。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

市役所の仕事は窓口での業務が多いと思っていたが，課によって行う業務が異なり，本庁舎以外での勤務があるということを知ることができた。本庁舎の中でも課によって業務はもちろん，服装や雰囲気も異なることを知り，実際にはたらくイメージを膨らませることができた。図書館やセンターには，業務委託やボランティアの方など職員以外がはたらいていることも知った。

市民活動はボランティアとは少し異なり，市民が市のため，市民のために活動することであることを学んだ。市民が自ら活躍できる場を支えることは，誰かのために尽力したいという私のはたらく上での動機に密接に関係していると感じた。

今回市民活動，地域自治，防犯・交通安全の3つのグループで実習をさせていただき，私は多くの人と直接コミュニケーションを取りながらはたらくことがあっていると感じた。特に，防犯・交通安全の仕事ではイベントに参加することが多く，直接市民の方とお話しする機会があった。直接お話しすることで市の取り組みについてどのように感じているか知るこ

とができ、より市民のためにはたらくことができると思う。人との直接のかかわりを大切にできる職に魅力を感じた。

公務員に必要なことはさまざまな視点から物事を見られる力があることであると教えていただいた。市民の方が仰ることにはどのような背景があるのか、とられる行動にはどのような意味があるのか深く考えることで、より市民に寄り添った職員になることができると感じた。私は現在心理人間学科に所属しており、論文を読む際にはクリティカルシンキングを意識すること、体験学習の際には起こった出来事だけでなく、その裏にどのようなかかわりがあったかを意識することが求められている。この考え方は公務員のみならず、社会人になる上で必要だと考える。誰かから聞いたこと、一度経験したことだけで判断をせず、それぞれの場面で柔軟な考えをもってはたらくことが大切であると感じることができた。

【今後の課題・目標】

インターンシップ実習の経験を活かし視野を広げて、自分に合った職業を見つけていきたい。自分のはたらく動機を活かせる職業を見つけることは譲らず、軸をもって就職活動していくことが目標である。

【選考があった場合、内容など】

エントリーシートで希望する課名を第四希望まで入力することができる。応募の理由、自己PRを記入するところがある。上限が2万字になっているが、私は1000文字くらいをめぐりに記述した。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
() 学内イベントや就業実践研修の授業 () 知人・友人など
() その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部キリスト教学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		岐阜市役所 環境政策課・ゼロカーボンシティ推進課	
業 種		公務	

研修期間： 8/4(月) ～ 8/8 (金) 実研修日数：5日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/4	「環境審議会」の説明・「環境白書」に関する意見交換	環境政策課	8/5	施設等見学	ゼロカーボンシティ推進課
〃	「事業概要」作成説明・作成補助	〃	〃	電気式生ごみ処理機等基礎知識習得	〃
〃	ごみ処理有料化説明・意見交換	〃	8/6	「ごみとわたしたち」検討業務	〃
8/5	ごみ減量・資源化指針等基礎知識習得	ゼロカーボンシティ推進課	〃	UV ビーズアクセサリー作成イベント準備	〃
〃	メルカリ shops 出品業務	〃	〃	委員会(減 CO2) 業務説明	〃
〃	ダンボールコンポスト基礎知識習得	〃	8/7	イベント準備・補助	〃
〃	ごみ減量フォーラム・雑がみグランプリ内容検討	〃	〃	若手社員との意見交換会・業務振り返り	環境政策課・ゼロカーボンシティ推進課

【研修テーマ（目標）】

市職員の業務内容・やりがいを見つけ出し、自身の進路選択の1つにする
また、公務員試験に対する意欲向上に繋げる

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

私は岐阜県で生まれ育ち、豊かな自然や温かな人々に囲まれて多くの学びと経験を得てきました。今後は、自分を育ててくれた岐阜県に恩返しをし、地域の魅力を次世代に繋ぐ仕事に携わりたいと考えています。中でも、岐阜市役所の業務を通じて、自然豊かな環境や教育といった面から向き合い、持続可能で豊かな地域づくりに貢献したいという思いがあり、職員の方々の実際の業務を間近で学び、政策形成の現場を肌で感じることで、将来の夢である市役所で働くために具体的なイメージを深めたいと考えていたため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

・環境政策課にて、岐阜市の「環境基本計画」や「ゼロカーボンシティ宣言」に関する基礎知識を学びました。文書作成や処理の流れ、各種説明資料の読み合わせ等を通じ、市職員の事務的な業務に触れました。特に、「事業概要」や「処理フロー」の説明から、環境政策の

多様な業務を体系的に理解できました。

・ゼロカーボンシティ推進課にて、電気式生ごみ処理機の導入施設の見学等の先進技術の説明を受けました。環境施策が岐阜市民の生活にどのように結びついているかを実感できました。

・「メルカリ shops」出品業務の体験や、ダンボールコンポストの基礎知識習得などを行いました。また、「ごみ減量フォーラム」や「雑がみクラブ」など、市民参加型の取組内容の検討を体験し、市民協働の大切さを学びました。ただ、今までのやり方だけではなく、市民が触れる機会が多いものを使つての取組が存在していることを知り、新しい一面も知ることができました。

・UVビーズアクセサリイベント準備や補助業務を通して、裏方としての行政の役割も体感し、ただ市民の全体に環境について広めるのではなく、年代層を絞つてのイベント・取組・発信方法もあり、学ぶことが1番多かったと感じました。さらに「減CO2委員会」の業務説明もあり、行政内での意思決定や調整の仕組みについて理解を深めました。

・若手職員との意見交換会を行い、業務振り返りや就職活動に向けたアドバイスも頂きました。実際の働き方や課題意識を直接聞ける機会となり、自身の将来像を考える上で非常に参考になりました。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

まず、日々の業務における文書作成・処理の流れや、市民や他部門との連携の実際を体験し、市職員の多岐にわたる役割を体験し、理解することができました。また、ゼロカーボンを実現するための多様なアプローチの仕方（技術導入、啓発活動、市民との協議の場設置等）を知り、具体的な市民に対しての啓発の仕方や実現するための意見交換の参加を通して、いかに市民と環境を1番に考えているかを知ることができました。そして、ごみ減量活動や市民団体との協働など、行政が地域社会と連携する意義を強く感じました。

このインターンシップを通じて、行政職として地域課題に主体的に取り組む意義とやりがいを感じました。それだけではなく、市職員との座談会も適宜設けていただき、質問しやすい環境を用意してくださっていたため、業務だけではなく、福利厚生や本音トークもでき、公務員の長所・短所共に知ることができました。民間企業との就職で思い悩んでいた私にとって、公務員志望に転向する切り札となりました。

【今後の課題・目標】

地元である岐阜県大垣市、本インターンシップで魅力を感じた岐阜市役所の職員になるべく、公務員試験勉強と大学生活(卒業論文)、アルバイトとの両立

【選考があった場合、内容など】

大学の保険加入後、「自由応募型インターンシップ・仕事体験エントリー報告書」「岐阜市インターンシップ申込書」の提出のみ

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA (○) 企業 Web (○) 就活サイト () インターンシップ協議会
() 学内イベントや就業実践研修の授業 () 知人・友人など
() その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	総合政策学部総合政策学科	学 年	2年
インターンシップ・仕事体験先名		小牧市役所	
業 種		公務	

研修期間： 8 / 12 (火) ～ 9 / 26 (金) 実研修日数：3日間		
日 程	内 容	受入部署
8/12	小牧市の概要、職務説明、東庁舎内議事場・図書館・こども未来館・防災センター視察、若手職員との座談会	人事課
8/14	配本、装備、図書館が開催しているイベントのお手伝い、本のポップ作り	図書館
8/20	広報広聴課業務概要、本庁舎内案内、市政記者クラブへ提出する書類の作成、小牧市公式のLINEのアカウントで発信するニュースの作成	広報広聴課

【研修テーマ（目標）】

・受入機関研修テーマ

自治体・企業等の実社会において、学習・研修的な就業体験を体験することにより、現代社会を担う人材の育成を行うものである。また、自治体としての魅力を学生へ発信し、志望者数の増加につなげるもの。

・自身の研修テーマ

市職員の方々が日々どのような課題に向き合っているのかや、市民の声をどのように政策に反映させているのかなどを実際に体験する。また、自身の学びや視点が行政の現場でどのように活かせるのかを考え、今後の進路や研究に活かしたい。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

私は地域に住む人々の暮らしやすさを重視した視点から地域の魅力や課題を発掘・分析し、政策としてどのように形にしていけるかを研究していきたいと考えている。また私は現在、教職課程および司書資格の取得を目指しており、学校や図書館などの公共施設・制度を通じた地域活性化にも関心があるので、今まで学んできた机上の学びを現場で実際にどのように取り組んでいるのかを体験したかったため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

1 日目はインターンシップに参加する学生が全員集まり、午前は座学、午後は小牧市が運営する施設の見学と座談会を行った。座談会では若手職員の方とお話し、仕事のやりがいや1日の業務などを聞くことができた。

2 日目は図書館で、配本や装備など図書館の裏側の業務や、図書館が開催しているイベントのお手伝いや本のポップ作りなどを行った。

3 日目は広報広聴課で、広報広聴課の方々が使用しているソフトでイラストの作成を行ったり、インターン生に実際に取材し、市政記者クラブの方へ提出する書類の作成や、小牧市公式のLINEのアカウントで発信するニュースの作成を行ったりした。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

実際に体験することで、市の職員の方がどのような仕事をされているのかを深く学ぶことができた。また、小牧市役所の職員の方々の温かい雰囲気、やりがいを持って職務についていらっしゃる姿を拝見し、働きたいと感じる有意義な3日間だった。

【今後の課題・目標】

今回体験したことを踏まえて、他の市役所や民間企業のインターンシップに参加し、キャリアプランを確定させていきたい。
公務員試験のための勉強を行う。

【選考があった場合、内容など】

書類選考にて応募動機、大学で学んでいること等についての項目があった。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
() 学内イベントや就業実践研修の授業 () 知人・友人など
(○) その他 以下に記述

[市のホームページ

]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	外国語学部英米学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		豊田市役所・多様性社会共創課	
業 種		公務	

研修期間： 9/12(金)、9/13(土)、9/16(火) 実研修日数：3日間		
日 程	内 容	受入部署
9/12	1. 姉妹都市のイギリスダービーシャー県で開催される、豊田市の出展の装飾（小さいポスター）作成 2. 国際理解授業の見学 上記授業について、豊田市国際交流推進公式フェイスブックに投稿する文章を作成	多様性社会共創課（産業文化センター内）
9/13	1. 豊田市国際交流協会の「にほんごひろば」にボランティアとして参加 2. 他市町の多文化子育てサロン事業を調査、まとめ	
9/16	1. ジェンダー平等推進センターが12月に開催予定の「小学生おしごと体験パーク」の打ち合わせに同行 2. 本庁舎見学	

【研修テーマ（目標）】

多様な市民のより良い暮らしの実現をサポートするために、豊田市の職員の方々がどのような業務に従事しているのかを知ることで、多文化共生における地方自治体の役割について学ぶ。多様性社会共創課が実施している具体的なイベント計画に携わることで、将来の自治体職員として働く際に求められる能力を見極める。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

私は交換留学中に異国の地で生活する苦労を経験し、在日外国人の生活に大きく関わり、サポートすることができる地方公務員への応募を視野に入れるようになりました。豊田市は愛知県で二番目に外国人が多い市であり、多様性社会共創課は外国人の支援や、多様性を尊重し合うまちづくりを推進する活動をしているので、ぜひ業務に携わらせていただきたいと思い、インターンシップに応募をしました。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

9/12

1. 豊田市のダービーシャー高校生派遣について紹介するポスターのデザインをしました。多様性社会共創課の職員が、後日ダービーシャーと豊田市の交流について展示を行うそうです。
2. 豊田市の国際交流員が朝日小学校で実施した国際理解授業を、見学させていただきました。また、授業の内容や様子を伝える文章を作成し、豊田市国際交流推進公式フェイスブックに投稿しました。

9/13

1. 豊田市国際交流協会が開催する「にほんごひろば」という日本語会話教室で、外国人市民の会話練習相手となるボランティアを経験しました。豊田市国際交流協会は、多様性

社会共創課と協力して国際交流イベントを多数開催している公益財団法人です。

2. 豊田市は、子育て中の外国人市民同士が交流する場である「多文化子育てサロン」を一般社団法人に事業委託しています。私は、他市町での類似した事業の状況を調査し、エクセルシートにまとめました。

9/16

1. 産業文化センターのオフィス内には庁外機関として、多様性社会共創課と豊田市ジェンダー平等推進センターが設置されています。三日目は、ジェンダー平等推進センターと民間企業が連携して行う、子ども向けイベント「お仕事体験パーク」の打ち合わせに同行しました。
2. インターンシップは産業文化センター内で実施したのですが、職員の方が本庁舎を見学する機会を作ってくださいました。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

二日目に参加した「にほんごひろば」でのボランティアでは、外国人の住民と交流する機会があり、豊田市での生活の状況や来日理由を直接拝聴しました。交流を通じて、外国人市民の多種多様なバックグラウンドを知ることができました。外国人を単なる一つのグループとして見なさず、各個人の生活にも目を向けながら市民全体の調和がとれた社会を目指す地方行政の難しさを感じ、勉強になりました。

インターンシップを通して、市民の生活の幅広い分野が地方行政に支えられているということを理解できました。同時に、三日間職員の皆さんと過ごさせていただくことで、公務員として地域のために働く責任の大きさを肌で感じ、地方自治体職員への思いが強くなりました。

【今後の課題・目標】

私は今回、初めてインターンシップに参加しました。最初は職員の皆さんとオフィスで働くことにとっても緊張し、挨拶や意見を求められた際に自信のなさが態度に表れてしまったように思います。採用面接では個性や自己表現力も必要なので、今後は社会人としての意識を強く持ち、面接の練習などに取り組みたいです。

【選考があった場合、内容など】

豊田市役所の採用ホームページのプログラム一覧表を参照のうえ、実習を希望する職種（行政職、保育職、消防職）と職場を第三希望まで選択できます。

応募フォームには、①現在学んでいる内容・興味のある分野、②インターンシップを希望する理由、実習に向けての抱負を各400字程度で記入しました。

面接はありませんでした。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- PORTA 企業 Web 就活サイト インターンシップ協議会
 学内イベントや就業実践研修の授業 知人・友人など
 その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	法学部法律学科	学 年	2年
インターンシップ・仕事体験先名		名古屋市役所	
業 種		公務（地方）	

研修期間：8/19(火)～8/20(水) 実研修日数：2日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8月19日	・業務説明のガイダンス、職場見学 ・カスタマーハラスメント対策のディスカッション	コンプライアンス推進課			
8月20日	・人材確保についてのディスカッション ・出退勤方法、職員休暇の案についてディスカッション	人事課 給与課			

【研修テーマ（目標）】

- ・業務内容、雰囲気を知る
- ・仕事を行う上でどのような能力が必要か、今後その力を養うため努力すべきことを把握する

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

良い街づくりの形成、市民に貢献するための根幹となる運営組織の仕事に興味を持ったため。市民に良いサービスを提供するには、これに携わる職員の仕事体制や環境が整っていることが必要なので、職員を支える業務を学びたいと思ったため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

・1日目

午前の部はガイダンスから開始。人事課・コンプライアンス推進課・給与課・安全衛生課の業務説明。その後、職場見学。お昼休憩後は6人のグループごとで行動。

午後の部は、コンプライアンス推進課で事前課題のテーマであったカスタマーハラスメントの対策についてディスカッションを行う。1人5分程度考えを述べ、その後1時間程度で意見をまとめる。その後、職員の方にグループでまとめた最終的な意見を発表する。終了後、約30分間の座談会、質疑応答。（午前、午後の部はそれぞれ3時間程度）

・2日目

1日目の6人グループで行動。午前中は人事課で、事前課題であった名古屋市役所の人材確保に向けてどのような情報発信をすると良いかというテーマでディスカッションを行った。事前課題でまとめた内容を1人ずつ発表し、その後グループで意見をまとめる。パワーポイントを作成し、職員の方にグループでまとめた意見を発表する。終了後、30分程度座談会。質疑応答。

午後は、給与課で前半は給与、後半は労政の業務について与えられたテーマでディスカッションを行う。給与では業務説明後、職員証と出退勤方法のより良い案を考え、個人で10分程度考えた後グループで意見をまとめて発表。後半の労政では、労政の業務説明後に実際

にあったら良いと思う休暇をグループで考え、休暇内容やメリット及びデメリットを交えながらディスカッション、発表を行う。終了後、30分程度座談会、質疑応答。(午前、午後
の部はそれぞれ3時間程度)

【インターンシップ・仕事体験の成果(得たこと)】

名古屋市の職員の方は、市民のためを第一に職務に取り組んでいることを学んだ。数年ごとの部署異動により幅広い経験ができるため、さまざまなことに取り組む意欲さが求められると考えた。

ディスカッションに関しては思うように意見を述べるができなかった場面もあったが、流れや雰囲気をつかめたので良い経験となった。ディスカッションでどの役割を担うことになっても円滑に対応できるよう練習が必要であると感じた。さまざまな視点から意見を述べられるよう、日ごろからニュースに触れて知識を身につけることが大切であると感じた。

【今後の課題・目標】

- ・名古屋市の組織、取り組みについて深く理解する
- ・ディスカッションの練習
→コミュニケーション、日々ニュースに触れて自分の意見をまとめる
- ・公務員試験の勉強

【選考があった場合、内容など】

選考は特になし。

応募時は、氏名、大学名などの個人情報、400字以内で応募動機を記入する。109のプログラムの中から一つを希望する形式だが、希望するプログラムによっては追加で2つほど質問が求められる。加えて、wordやExcelの基本操作も求められる。

参加日時決定後、人事課とコンプライアンス推進課から事前課題があった。実習日に当日持参するものと、事前にPDFまたはwordで作成し提出する形だった。

【インターンシップ情報の入手先】※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- () 学内イベントや就業実践研修の授業 (○) 知人・友人など
- () その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	法学部法律学科	学 年	3年
インターンシップ・仕事体験先名		名古屋市役所 天白区(地域防災コース)	
業 種		公務(地方)	

研修期間： 9 / 4 (木) ～ 9/ 10 (水) 実研修日数：3日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
9/4(木)	業務説明・見学・職員座談会	天白区役所 総務課			
9/7(日)	総合防災訓練	天白区役所 総務課			
9/10(水)	防災学習・区長報告会	天白区役所 総務課			

【研修テーマ(目標)】

- ・天白区役所において、学生が在学中自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行いながら行政への理解を深める。
- ・行政の地域との防災に関する関連性と実際にどのように地域の災害対策を行っているのか理解を深める

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

私は名古屋市の天白区が目指す「安心して暮らせるまち」づくりに強く共感し、名古屋市大学生消防団としての活動経験を活かして、地域と行政の架け橋となり、地域の防災力向上に貢献したいと考え、志望しました。私は名古屋市大学生消防団の一員として、これまで応急救命講習のサポートや子ども向け防災ゲームの企画・運営など、防災啓発活動に積極的に取り組んできました。昨年、市民交流団として参加した陸前高田市での防災フェスタでは、防災マイスターの方と協力し、紙芝居形式で応急手当の重要性についてクイズを含めて説明し、来場者の方と共に応急手当を実践する活動を行いました。南海トラフ地震の発生が想定されている今、地域住民一人ひとりの日頃からの災害への備えや、地域の防災体制の整備の大切さを感じています。天白区の地域防災コースで実践的な力を身につけ、災害時に誰ひとり取り残さない、安心して安全な街づくりを実現するために、貢献していきたいと考えていることから志望しました。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

・1日目 9/4(木)

最初に業務説明・庁内見学をしました。防災担当業務説明・2日目の総合防災訓練業務説明してもらいました。職員座談会では、若手の3人の職員の方に採用試験の勉強や試験対策や現在の業務について詳細に教えてもらいました。

・2日目 9/7(日)

天白学区内の野並小学校で総合防災訓練に参加しました。一人1クラスを担当して、生徒さんと一緒に防災動画を視聴し、防災クイズをしました。また、牛乳パックでホイッスルを作成しました。

・3日目 9/10(水)

主に中学生を対象とした防災学習に参加しました。午前中は、避難所運営ゲーム(HUG)を通じて、避難所で想定される課題を解決する体験を中学生とともに行いました。グループ

ワークの中で、生徒が主体的に意見を出せるようサポートしながら、自分自身も災害時の対応の難しさや協力の大切さを学びました。午後は、防災訓練の振り返りを行い、活動の成果や改善点を整理しました。さらに、区長報告会にも同席し、訓練や学習の成果を行政内で共有し、次の取組みに活かすプロセスを見学しました。これらを通じて、防災教育の重要性や、行政が地域と連携して取り組む姿勢を深く理解することができました。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

今回のインターンシップを通じて、行政の役割や防災に対する理解を大きく深めることができました。まず、庁内見学や業務説明を受け、市役所の仕事が市民生活の安全と安心を支える基盤であることを理解しました。次に、総合防災訓練の準備や振り返りに参加する中で、多くの部署や地域住民が協力し合いながら防災体制を構築している姿を見て、調整力や協働の重要性を学びました。また、中学生と一緒に行った防災学習や避難所運営ゲーム（HUG）を通じて、防災教育が将来の地域の力を育むものであることを実感しました。さらに、区長報告会では、成果を共有し改善につなげる仕組みを目の当たりにし、行政における説明責任の重さを理解しました。これらの経験を通じて、私は防災の知識だけでなく、協働を通じて社会に貢献する姿勢や、課題に向き合う実践力を養うことができました。

【今後の課題・目標】

今回のインターンシップを通じて、防災行政の重要性や協働の大切さを学びましたが、自分の知識や判断力の不足も実感しました。特に、災害時に必要とされる迅速な判断や多様な立場の人への配慮については、今後さらに理解を深める必要があります。今後は、防災に関する知識の習得だけでなく、現場を想定した実践的な対応力や調整力を磨き、将来社会に貢献できる力を高めていきたいと考えています。

【選考があった場合、内容など】

・6月上旬に応募動機 400 字、専攻分野 300 字をインターネットで提出しました。

【後輩へのアドバイス】

インターンシップでは、ただ説明を聞くだけでなく、自分から積極的に質問したり感想を伝えたりすることで学びが深まります。特に防災分野は、知識だけでなく現場での対応力や協働の姿勢が大切です。失敗を恐れず、体験の中で気づいたことをメモし振り返ると、より多くの学びにつながります。市役所の方々も丁寧に答えてくださるので、興味を持ったことは遠慮せずに聞く姿勢を大切にしてください。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- () 学内イベントや就業実践研修の授業 () 知人・友人など
- () その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部日本文化学科	学 年	2年
インターンシップ・仕事体験先名		袋井市役所	
業 種		市役所役員	

日 程	内 容	受入部署
8/18	全体実習	総務課
8/19	二歳児フッ素、事務	こども支援課
8/20	どんぐり教室、実施要項発送準備	こども支援課
8/21	二歳六か月健診、事務	こども支援課
8/22	全体実習	総務課

【研修テーマ（目標）】

市役所で働くことを体験する。
こども支援課で行われている母子保健事業を知る。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

現在公務員を志望しており、公務員として働くことを実際に体験し、今後の職業選択の参考にしたかったため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

二歳児健診のサポート、フッ素塗布の見学、どんぐり教室（幼児の健康診断において言葉や発達に不安をもつ親子を対象として開かれる教室）の見学、二歳六か月相談・健診のサポート、窓口、事務。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

「職員ひとりひとりに明確な役割があって、与えられた業務のみを行えばよい。」というかたちではなく、自分の専門や係の垣根を越えて母子へのサポートを献身的に行う必要があり、職員全員で課の業務を遂行してひとつにまとめ上げていかなくてはならないということが分かった。

【今後の課題・目標】

今回はこども支援課でインターンシップ・仕事体験をさせていただいたが、今後、他の部署の業務内容も確認し、共通点や違いを発見して、市民への様々な寄り添い方を見つけていきたい。

また、今回のインターンシップ・仕事体験を通して、将来公務員として働きたいという思いが強くなったので、この体験を公務員試験へのモチベーションにしていこうと思う。

【選考があった場合、内容など】

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

() PORTA (○) 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会

<様式3>

() 学内イベントや就業実践研修の授業 () 知人・友人など

() その他 以下に記述

[

]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	法学部法律学科	学 年	1年
インターンシップ・仕事体験先名		尾張旭市役所	
業 種		公務(地方)	

研修期間： 2/18(水) ～ 8/25(水) 実研修日数： 2日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
2/18(水)	スカイワードの歴史民俗フロアでひな人形展の展示作業補助	生涯学習課			
2/25(水)	どうだん亭でひな人形の虫干し作業の補助	生涯学習課			

【研修テーマ（目標）】

ひな人形の展示や虫干しを通して、市役所の業務について学ぶこと。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

市役所のインターンシップを探していたところポルタで見かけたため。家が近く親しみがあったから。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

2/18 午前中は、スカイワードあさひでひな人形を並べた。午後は、市役所でデジタルミュージアムに載せる作品の説明分をパソコンで入力した。

2/25 はどうだん亭でひな人形の虫干しをした後、時間があったので、スカイワードあさひの倉庫で、デジタルミュージアムに載せる写真の撮影をお手伝いした。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

両日、市役所のボランティアをしている方々と一緒に活動した。市民とこんなに密接に関わりながら仕事をするとは知らなかったもので、勉強になった。

【今後の課題・目標】

18日はパソコン作業を少し行ったが、パソコン操作に慣れておらず大変だった。次回のインターンシップ参加までに勉強したい。

【選考があった場合、内容など】

特になし。電話ですぐに内定をもらえた。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- PORTA
 企業 Web
 就活サイト
 インターンシップ協議会
 学内イベントや就業実践研修の授業
 知人・友人など
 その他 以下に記述

[]

以上